京都府立 京都学・歴彩館
Kyoto Institute, Library and Archives

Designs of Kyoto

時をかさねる文様

ペーパークラフトワークショップ

―小袖雛形本からつくる京の意匠―

Kosode Hinagata Books

Lecture & Paper Craft Workshop

2026年11月22日（日）

14:00―15:30（13:30～受付開始）

京都府立京都学・歴彩館1階小ホール

講師：山本史　デザイナー / イラストレーター
京都工芸繊維大学 デザイン・建築学系 准教授

主催：京都府立京都学・歴彩館指定管理者「コングレ・日本管財・丸善雄松堂共同事業体」　共催：京都府立京都学・歴彩館

イラストレーション参考：
京都府立京都学・歴彩館 歴史資料アーカイブより
『雛形京乃水』（分冊番号：1コマ番号：20）



京都府立京都学・歴彩館 歴史資料アーカイブより
左：『雛形京乃水』
右：『新雛形千歳袖』

ペーパークラフトワークショップ

時をかさねる文様

―小袖雛形本からつくる京の意匠―

2026年11月22日（日） 14:00―15:30（13:30～ 受付開始）
京都府立京都学・歴彩館 1階小ホール 料金 500円 定員 40名

京都の文様には、どんなものがあるのだろう？

このワークショップでは、歴彩館が所蔵する「小袖雛形本」を題材に、京都の伝統的な文様や意匠、色彩について、デザインの視点から紹介します。

「小袖雛形本」とは、現在の着物の原型となった「小袖」に施す図柄を集めた、いわば江戸時代のファッションブック。自然をモチーフにした文様や、今も私たちの身近にある意匠を眺めながら、その由来や魅力に迫ります。

ミニレクチャーの後は、実際に小袖をデザインするペーパークラフトに挑戦します。「文様」「配置」「色彩」、そして小袖と帯の組み合わせなどを考えながら、紙を切ったり、貼ったり、文様を描いたり。自由に手を動かしてみましょう。

全体に模様を広げる「総文様」や、下半身を華やかに飾る図柄、左右で異なる図柄など、昔の小袖にはさまざまな工夫が見られます。今回は、そうした伝統的な意匠をヒントにしながら、皆さんが思い描く「今の京都」も取り入れ、昔と今が出会う一着をつくります。

最後には、完成した皆さんの小袖の意匠をずらりと並べて、この日だけの「今日の小袖雛形本」をつくります。

講師　山本史（やまもとふみ）
京都工芸繊維大学 デザイン・建築学系 准教授

専門分野はヴィジュアルコミュニケーションデザイン、イラストレーション。京都市立芸術大学博士（美術）。京都三大学教養教育共同化科目では「京の意匠」を担当。絵本や学習教材、デジタルアーカイブなどの視覚メディアを用いて、地域の文化や言語の継承のための研究と実践に取り組んでいる。展覧会、ワークショップの開催多数。主な著書に、『みる・よむ・きく 南の島ことば絵本』シリーズ（ひつじ書房）がある。これまでに、与那国島の『ディラブディ』、竹富島の『星砂の話』、沖永良部島の『塩一升の運』、多良間島の『カンナマルクールクの神』の4冊を制作。



申込方法（事前申込制）

以下の方法でお申し込みいただけます。

・右下二次元コードの申込専用フォーム
・お電話（075-723-4831）※休館日除く
・申込締切11月21日（土）17:00まで

お申し込みの際、次の内容をお伝えください。
①代表者氏名、②電話番号、③参加人数
※定員に達し次第受付終了

〔当日持ち物〕はさみ、のり、着彩用画材（色鉛筆、カラーペンなどお好きなもの）、参加費
※参加費 500円は、当日受付にてお支払いください。
（現金 またはPay Pay）

京都府立 京都学・歴彩館
〒606-0823
京都市左京区下鴨半木町1-29
☎ 075-723-4831（代表）

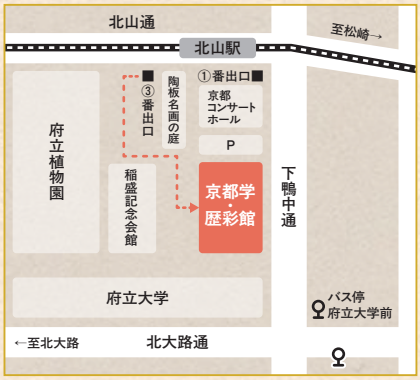
Information

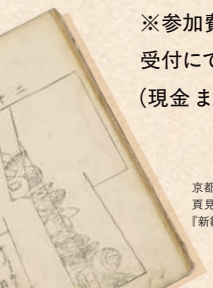
〔開館時間〕平日/09：00-21：00
土・日/09：00-17：00
休館日/ 祝日、第2水曜日、
年末年始（12月28日～1月4日）

京都府立京都学・歴彩館 HP
https://rekisaikan.jp/

Access

京都市営地下鉄烏丸線 北山駅下車（①出口）南へ 徒歩4分
京都市バス1、204、206 系統
府立大学前（北大路通）下車 北へ徒歩6分
駐車場 / 31台（有料）
駐輪場 / 敷地内（下鴨中通側・無料）





京都府立京都学・歴彩館 歴史資料アーカイブより
頁見開き画像 上、中、下：
『新雛形千歳袖』